

大野

大野小学校 学校だより
第4号
令和2年 6月16日(火)
校長 伊東 敏勝

【教育目標】 ・かしこく ・やさしく ・たくましく

◇ 今年度の重点目標 「いっしょに考えよう 進んで挑戦しよう」

〔笑顔あふれる大野小〕

ありがとうございました ～PTA奉仕作業～

6月7日(日)は、6:30より健全育成委員の皆さんによるプール清掃の準備、そして 7:00からはPTAの会員の皆さんによる奉仕作業が行われました。6月1日から通常の教育活動が再開されたので、全体としましては今年度最初の行事でした。プールの清掃、側溝の土上げ、草刈り、草むしり等、約1時間の作業で校庭もプールも大変きれいになりました。保護者の皆様には、貴重なお休みの早朝からの作業、誠にありがとうございました。



「ニコちゃんマーク」わかりますか？

大野からは横向きに見えました。

青空に大きな笑顔 校庭にたくさんの笑顔

エアロバティック・パイロットの室屋義秀さんによる「Fly for All#大空を見上げよう」プロジェクトによるフライトが、6月9日(火)12:43より相馬市上空で行われました。大野小学校児童、大野幼稚園児と職員が12:40に校庭に出て空を見上げました。当日は雲一つない青空、飛行機の音が聞こえてきても姿は見え、やがてスモークで円を描き始めるとみんな指をさして方向を確認しました。大きな笑顔が空にできあがると、みんな笑顔で室屋さんに手を振って応えました。

校庭のたくさんの笑顔はきっと室屋さんに伝わったでしょうね。室屋さんありがとうございました。この様子は、10日の福島民友、11日の福島民報にも掲載されました。相馬市の公式ツイッターにも掲載中です。

郷土野菜『相馬土垂』



40年以上途絶えていた相馬唯一の伝統野菜、サトイモの『相馬土垂（ソウマドタレ）』を大野村農園の菊地さんが4年以上かけて発見し、その苦労により2016年に復活させることができました。

昨年から大野小学校の児童もイモ植えや収穫を体験させて頂いており、市内の小中学校の給食にも提供されました。今年も1年生が、6月3日（水）に農園を訪れ、菊地さんたちのわかりやすいご指導で、植える間隔や肥料を入れる場所を知ると、我先にと走りながらの作業で、苗植えと肥料入れを一生懸命行いました。児童からは、「作業が楽しかった」という感想が聞かれました。



相馬土垂のように、作物を途絶えることなく繋いで行くには、毎年作っていかねばならないそうです。相馬唯一の伝統野菜が復活だけでなく、どんどん広まって行くといいですね。

菊地さんから「イモの成長の様子を見に来てください。」と言われたので、これからも成長の観察をしていきたいと思えます。ありがとうございました。

この体験活動は、相双農林事務所、相馬教育委員会の食育の事業として行っております。

児童会総会

6月9日（火）に児童会総会が行われました。一同に会することなく、放送により、多目的ホール、図書室、教室に分散して行いました。また、児童会による『いじめ根絶宣言』もおこないました。



学校訪問

6月9日（火）に相双教育事務所長の学校訪問がありました。全学級の授業を参観され、「どの学級も子どもたちが生き生きとして学習をしていますね。」とお褒めの言葉をいただきました。



熱中症防止

梅雨入り、高温、高湿度と日本にとって過ごしにくい季節に入っております。今問題になっているのは、コロナ対応のマスク着用が、熱中症を助長する可能性もあるということです。学校では、ガイドラインにより、室内ではマスクを着用してエアコンや換気を行って活動しておりますが、外での活動は「マスクをしなくてもいい」としております。

先日メールでお願いしましたように、集団登校の際も「学校に着くまでマスクはしなくてもいいよ」とご家庭でもお声がけをお願いします。